

# 「植生調査研修—みどりの分け方、調べ方」

このたび IGES 国際生態学センターは、植生調査の技能習得をねらいとした「植生調査研修—みどりの分け方、調べ方」を下記要領で開催いたします。本研修では、自然環境の基礎調査や環境アセスメント分野で必須となっている「植物社会学的植生調査」をおもにとりあげ、基礎概念や調査方法などの基本的事項について、室内講義と野外実習を通して理解を深めます。皆様のふるってのご参加をお待ち申し上げます。

**日 程：2026年5月19日(火) 会場：IGES 本部 B1F 会議室 1**  
09：30－10：45 室内講義「群落記載・分類の基礎」 [鈴木(伸)]  
11：00－12：15 室内講義「植物の分け方、調べ方」 [山本]  
13：15－14：30 室内講義「地域の植物相調査と標本データの活用」 [田中]  
14：45－16：15 野外実習「野外調査の心得、ブラウン-ブラウン法の基礎理論と実践」 [鈴木(伸)・矢ヶ崎]  
16：15－16：30 質疑応答、事務連絡

**2026年5月20日(水) 会場：天神島臨海自然教育園・天神島ビジターセンター**  
09：30－17：30 野外実習「植物社会学的植生調査」 [鈴木(伸)・矢ヶ崎・山本] (※途中、昼食休憩あり)

**2026年5月21日(木) 会場：IGES 本部 B1F 会議室 1**  
09：30－12：00 室内講義「植物社会学的植生調査」 [鈴木(伸)] (※途中、休憩あり)  
13：00－13：30 室内講義「作業フォローアップ (区分表の見方と植生図)」 [矢ヶ崎]  
13：45－15：00 室内講義「日本の植生と生態学の考え方」 [鈴木(邦)]  
15：00－15：20 修了証授与・閉講

※プログラムにつきましては、内容・時間が若干変更となる場合がありますのであらかじめご了承下さい。

参加費：無料

募集人員：25名(5月11日(月)18時〆切、応募多数の場合は抽選。締切後定員に余裕がある場合は先着順)

※注：本研修は、群落分類・植生調査経験がない又は少ない方(目安：調査経験5年未満の方)向けのプログラムとなります。植生学分野を専攻する学生のみなさんや仕事で植生調査を担当し始めたばかりの社会人の方々、植物・植生を調べることに興味・関心のある一般市民の方々などご参加いただけます。パソコンを用いたデータ入力作業や解析実習は含まれません。全プログラム(3日間)にご参加いただける方が対象となります。

申込方法：下記ウェブサイトよりお申し込みください。

[https://jise.jp/jp/2026/04/16/20260519\\_kensyu/](https://jise.jp/jp/2026/04/16/20260519_kensyu/)

お問い合わせ先：公益財団法人地球環境戦略研究機関 国際生態学センター (IGES-JISE)  
〒240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口 2108-11  
Mail: [jise@iges.or.jp](mailto:jise@iges.or.jp) (担当：増田)

ご案内ウェブサイト：[https://jise.jp/jp/2026/04/16/20260519\\_kensyu/](https://jise.jp/jp/2026/04/16/20260519_kensyu/)

講師：鈴木 伸一 (IGES 国際生態学センター センター長)  
鈴木 邦雄 (IGES 国際生態学センター シニアアドバイザー)  
田中 徳久 (神奈川県立生命の星・地球博物館 専門学芸員)  
矢ヶ崎朋樹 (IGES 国際生態学センター 上級主幹研究員)  
山本 薫 (横須賀市自然・人文博物館 学芸員)

後援：自然環境復元学会

研修会場のご案内

- ①公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES 本部) <https://www.iges.or.jp/jp/about/access/headquarters>  
②天神島臨海自然教育園・天神島ビジターセンター <https://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/information/access#tenjin>

# 講師紹介



## 鈴木 伸一 (すずき しんいち)

地球環境戦略研究機関 国際生態学センター センター長  
博士(学術)(横浜国立大学)

1979年明治大学農学部卒業。群馬県公立高等学校教諭(1987-1998年)、(財)国際生態学センター主任研究員(1998-2007年)、IGES 国際生態学センター主任研究員(2007-2008年)、東京農業大学地域環境科学部教授(2009-2023年)を経て、現職。日本国内外での植物社会学的調査・研究や里山植生・植物相に係る研究を進めている。著書には『日本植生誌第3~10巻』(分担執筆、至文堂)、『環境緑地学入門—理論と実際』(編著、コロナ社)、『植生景観とその管理』(分担執筆、東京農大出版会)、『環境を守る森をしらべる』(共著、海青社)などがある。



## 鈴木 邦雄 (すずき くにお)

地球環境戦略研究機関 国際生態学センター シニアアドバイザー/横浜国立大学名誉教授・元学長  
理学博士(東北大学)

1970年東北大学理学部卒業後、横浜国立大学助手、助教授、教授、学長を歴任し、2016年9月より現職。熱帯アジアのマングローブ、泥炭湿地生態系を対象とした生態学的調査研究をはじめ、企業の環境戦略や地域環境計画、ミティゲーションなどに関して、生態学の視点から調査研究を進めている。著書には『エコマネジメント入門』(単著、有斐閣)、『水に浮かぶ森』(単著、信山社)、『環境共生型社会のランドデザイン』(共著、NTT出版)、『マネジメントの生態学』(単著、共立出版)、『熱帯生態学』(共著、朝倉書店)などがある。



## 田中 徳久 (たなか のりひさ)

神奈川県立生命の星・地球博物館 専門学芸員  
博士(学術)(横浜国立大学)

1990年横浜国立大学大学院修了後、神奈川県立中央青年の家・指導員を経て、神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員に着任。博物館に集められた神奈川県産の植物標本の属性情報を用いて県内の植物地理区分や分布類型などを解析している。主な著書に『神奈川県植物誌 2018』、『神奈川県植物誌 2001』(分担執筆、神奈川県立生命の星・地球博物館)、『横浜の植物』(分担執筆、横浜植物会)、『フィールドワークの達人』(分担執筆、東海大学出版会)、『植物のブロカが教える面白くてためになる植物観察の事典』(分担執筆、山と溪谷社)などがある。



## 矢ヶ崎 朋樹 (やがさき ともき)

地球環境戦略研究機関 国際生態学センター 上級主幹研究員  
博士(環境学)(横浜国立大学)

1997年横浜国立大学教育学部卒業後、(財)国際生態学センター研究員(1998-2007年)、IGES 国際生態学センター研究員(2007-2017年)を経て、現職。2025年4月より横浜国立大学総合学術高等研究院客員教授。国内・海外(ラオスなど)の都市・農村部を対象に、森林保全や荒廃地植生回復、緑地の便益評価、環境教育などをテーマとした調査・研究を進めている。著書には『環境を守る森をつくる』(原田洋と共著、海青社)、『未来につなげるESD 持続可能な社会を里山から考える』(倉田薫子編) (分担執筆、大修館書店)などがある。



## 山本 薫 (やまもと かおる)

横須賀市自然・人文博物館 学芸員  
博士(理学)(首都大学東京)

2013年首都大学東京(現・東京都立大学)大学院理工学研究修了後、国立科学博物館研究員、埼玉県立自然の博物館学芸員を経て、現職。植物の分類、生態、進化、多様性に関する研究を行う。市民とともに植物圃調査や保全活動を実施する一方で、シタ植物の生殖様式に着目した細胞学的・遺伝学的な研究や、三浦半島の植物の多様性・独自性の解明にアプローチするテーマに取り組んでいる。また、植物を教材にした普及啓発活動に幅広く取り組んでいる。

## 会場(初日集合場所)のご案内

**5月19日(火) 集合時間 9時25分**

**公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES 本部) 会議室1**

(会場へのアクセスは右下のQRコードをご参照ください)

室内講義を終えた後、野外実習を予定しています。森林・草原内を歩きますので、肌の露出のない、汚れても良い服装(長袖・長ズボン、ハイキングシューズ等)で参加ください。

当日は講師の指導の下、各自、野外調査の記録作業(筆記)に取り組んでいただきます。B5サイズの植生調査票を使用しますので、クリップボード、筆記用具(ボールペン、鉛筆)を持参してください。

※雨天決行です。雨天の場合は、記録用紙が濡れないよう、折畳み傘をご持参下さい。

※本研修についてのお問合せは、天神島ビジターセンターにはなさらないようお願いいたします。

